

# ナイスケアだより

第134号

令和5年7月発行

新宿区生活体制整備協議会に委員として参加してきました。この会議体は新宿区が中心となり、区民に対しての地域支援者やサービス事業者などの支援体制を強化し、地域課題に対し解決に向け意見を出し合ってより良い街作りを検討していくといった会です。行政担当者、民生委員、町会委員、サービス事業者などが参加し意見が出され、課題を抽出し、解決に向けた話し合いが行われました。認知症の一人暮らし、関係を全く持たない引きこもりの高齢者、ヤングケアラー、多国籍の方とのトラブルなど支援困難な課題が多く上がりました。

課題はどれも困難ですぐに解決に繋がるという答えは見つかりませんでした。その中で支援者として大切なこととして『関係性を大切に寄り添う』や『ゆるやかに見守る』こととの継続が大切ということ、さらに問題によっては専門職につなげて横の連携を作っていくことが解決の一步となることが認識されました。

私どもサービス事業者も地域の一員としてできる範囲の中でこのキーワードを意識し取り組んでいきます。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

## ～うなぎの蒲焼(かばやき)～

7月30日日曜日は土用の丑の日です。土用の丑の日にはうなぎを食べる習慣がありますが、だいたい蒲焼で食べる事が多いです。

そもそも蒲焼って何？って問われるとご存知ですか？

由来はうなぎを切って串に刺して焼く様子が蒲(がま)の穂に似ている事から、がま焼き→かば焼きに転じたのが定説です。

蒲(がま)の穂とは、水辺に生えている細長い草に黄色いソーセージのような穂が付いている感じです。写真で見ると確かに似ています。



7月30日は、うなぎを食べて日本酒(熱燗)を飲んで、落語『5代目 古今亭志ん生の「うなぎ屋」』を聞きます。

うなぎ屋とは、店主がうなぎを捌こうと捕まえようとしてますが、ヌルヌルしてなかなか捕まえられずに町内を1周してしまう話です。

井森 和男